



第2号では、6年生のみつけタイム(総合的な学習の時間)と社会科の学習についてお知らせします。

◎こんな子供を育てたいと考えています



- ・歴史的な文化遺産等を調べ、地域への愛着をもつ子供(みつけタイム)
- ・よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする子供(社会科)

◎学習の様子(校外学習や学校での講話、体験学習)

(1)みつけタイム「学ぼう歴史から 見つめよう未来を！」

5月、6月とみつけタイムの学習として知立市歴史民俗資料館へ、社会科の「国の政治のしくみと選挙」の学習として知立市役所に市議会見学へ行きました。また、猿渡小学校に講師の方に来ていただき、選挙出前トークや租税教室を行いました。

知立市歴史民俗資料館では、4月にできた新たなジオラマで知立市の映像を見たり、内藤魯一や池鯉鮒宿についての資料を読んだりして、興味をもっていました。実際に見たことから課題を見つけ、現在の学習に繋がっています。

(2)社会科「国の政治のしくみと選挙」

社会科の学習では、専門的な方に聞いたり、実際に見たりすることで、より学びを深めることができました。知立市役所では、市議会や市役所の役割や仕事について、現職の議長の方が教えてくださいました。選挙出前トークでは、市の選挙管理委員会の方に、若い世代の投票率が低いことや選挙の大切さについて知ることができました。選挙の体験もさせていただき、貴重な経験となりました。租税教室では、税がある生活とない生活の区別や税の使い方を税理士の方に詳しく説明していただきました。このような、学校の授業だけではできない経験、体験を通して、進んで学習に取り組むことができました。



【歴史民俗資料館でジオラマを見ている様子】



【市議会で話を聞く様子】



【選挙出前トークで選挙の体験をする様子】



【租税教室で教えていただいている様子】